

茂原市の大気中の放射線量について

茂原市では、平成 23 年 5 月 30 日から、携帯型放射線測定器で市内の小学校 14 校の校庭における放射線量の測定を実施しています。

今回の測定結果は表のとおりでした。この結果は、「放射性物質汚染対処特措法」に基づく基本方針の、追加被ばく線量を年間 1 ミリシーベルト以下とするための基準、1 時間当たり 0.23 マイクロシーベルトを下回っており、市としては健康に影響が無いものと判断しています。(表の下部に解説があります。)

千葉県測定マニュアルに基づく測定結果（県様式）

測定地点名	測定値* ($\mu\text{Sv}/\text{h}$)		地面の形状	測定日 天候
	1.0m	0.5m		
茂原小学校	0.05	0.05	土	4月9日 曇
萩原小学校	0.06	0.06	土	4月9日 曇
東郷小学校	0.05	0.05	土	4月9日 曇
東部小学校	0.05	0.05	土	4月9日 曇
二宮小学校	0.06	0.06	土	4月9日 晴
緑ヶ丘小学校	0.05	0.05	土	4月9日 晴
西小学校	0.06	0.07	土	4月9日 晴
五郷小学校	0.05	0.05	土	4月9日 晴
鶴枝小学校	0.07	0.08	土	4月9日 曇
中の島小学校	0.05	0.05	土	4月9日 曇
豊田小学校	0.06	0.06	土	4月9日 曇
本納小学校	0.06	0.05	土	4月9日 曇
新治小学校	0.06	0.05	土	4月9日 曇
豊岡小学校	0.06	0.06	土	4月9日 曇

* $\mu\text{Sv}/\text{h} = 1 \text{ 時間当たりマイクロシーベルト}$

- ・測定機器名：日立アロカメディカル社製 TCS-172B (県統一機種)

- ・**1 時間当たりの放射線量、0.23 マイクロシーベルトの考え方**

国は、追加被ばく線量を年間 1 ミリシーベルト以下としていることから、1 時間当たりの放射線量は以下のとおりとなります。なお、1 日の行動パターンを 8 時間は屋外で、16 時間を屋内で過ごすものとして、屋内の遮へい効果を 0.4 倍（木造家屋）として算定します。

1 ミリシーベルト／年 = 1,000 マイクロシーベルト／年

1,000 マイクロシーベルト ÷ 365 日 = 2.74 マイクロシーベルト／日

2.74 ÷ (8 時間 + 16 時間 × 0.4) ≈ 0.19 マイクロシーベルト／時

大地からの放射線量 $0.04 + 0.19 = 0.23$ マイクロシーベルト／時

○参考 1 として、地上 5cm での測定結果は下表のとおりです。

(単位: $\mu \text{Sv/h}$)

茂原小学校	萩原小学校	東郷小学校	東部小学校	二宮小学校	緑ヶ丘小学校	西小学校
0.05	0.06	0.05	0.05	0.06	0.05	0.07
五郷小学校	鶴枝小学校	中の島小学校	豊田小学校	本納小学校	新治小学校	豊岡小学校
0.05	0.09	0.05	0.06	0.05	0.05	0.06

○参考 2 として、平成 23 年 10 月下旬から市が所有する測定器 (Radi : HORIBA PA-1000) により保育所、幼稚園及び中核的な公園の放射線量を測定しています。その結果は下記のとおりで、いずれも 1 時間当たり 0.23 マイクロシーベルトを下回っています。

① 10 保育所における地上 1m での測定結果 (H25. 4. 12)

最高 $0.075 \mu \text{Sv/h}$ (0.394mSv/年) 最低 $0.056 \mu \text{Sv/h}$ (0.294mSv/年)

② 4 幼稚園における地上 1m での測定結果 (H25. 4. 4)

最高 $0.062 \mu \text{Sv/h}$ (0.325mSv/年) 最低 $0.052 \mu \text{Sv/h}$ (0.274mSv/年)

③ 茂原公園における地上 1m での測定結果 (H25. 4. 10)

集水桟 $0.051 \mu \text{Sv/h}$ (0.268mSv/年) 遊具付近 $0.061 \mu \text{Sv/h}$ (0.321mSv/年)

美術館入口 $0.065 \mu \text{Sv/h}$ (0.342mSv/年)

④ 萩原公園における地上 1m での測定結果 (H25. 4. 10)

集水桟 $0.053 \mu \text{Sv/h}$ (0.279mSv/年) 遊具付近 $0.056 \mu \text{Sv/h}$ (0.294mSv/年)